

研究発表会開催通知

(昭和 63 年 5 月 15 日～6 月 30 日)

研 究 会	日	時	会 場	備 考
情 報 シ ス テ ム	5 月 17 日 (火)	9 : 30～17 : 00	東 大	前号参照
設 計 自 動 化	5 月 17 日 (火)	13 : 00～17 : 00	明大(駿河台)	同 上
ソ フ ト ウ ェ ア 工 学	5 月 18 日 (水)	13 : 30～17 : 00	機械振興会館	同 上
デ ー タ ベ ー ス ・ シ ス テ ム	5 月 19 日 (木)	10 : 30～16 : 00	リ コ ー	同 上
コ ン ピ ュ ー タ ビ ジ ョ ン	5 月 19 日 (木)	13 : 00～17 : 00	名 古 屋 大	同 上
マルチメディア通信と分散処理	5 月 20 日 (金)	9 : 30～16 : 30	琉 球 大	同 上
ア ル ゴ リ ズ ム	5 月 23 日 (月)	10 : 00～17 : 30	上 智 大	同 上
自 然 言 語 処 理	5 月 27 日 (金)	12 : 30～17 : 00	KDD 上福岡研	同 上
ソ フ ト ウ ェ ア 基 礎 論	5 月 26 日 (木) 5 月 27 日 (金)	10 : 30～17 : 00 9 : 30～12 : 15	名 古 屋 大	下記参照
オペレーティング・システム	6 月 17 日 (金)	9 : 50～16 : 40	機械振興会館	同 上
ソ フ ト ウ ェ ア 工 学	6 月 22 日 (水)	13 : 30～17 : 00	同 上	同 上
情 報 学 基 礎	6 月 27 日 (月)	13 : 30～17 : 00	同 上	同 上
マイクロコンピュータと ワークステーション	6 月 28 日 (火)	13 : 30～17 : 00	同 上	同 上

◆ 第 25 回 ソフトウェア基礎論研究会

(発表件数 : 15 件)

(主査 : 佐藤雅彦, 幹事 : 柴山悦也, 田中二郎, 萩野達也)

日 時 昭和 63 年 5 月 26 日 (木) 午前 10 時半～午後 5 時

5 月 27 日 (金) 午前 9 時半～午後 12 時 15 分

会 場 名古屋大学 工学部 8 号館 2 階 情報工学科 大学院講義室
 [名古屋市千種区不老町, JR : 名古屋から 地下鉄 : 東山線本山下車徒歩 15 分.
 Tel. 052 (781) 5111]

5 月 26 日 (木) 10 : 30～12 : 00 (3 件)

議 題 (1) μ 算法による NeO の操作的意味について

猪股俊光, 西村義行 (豊橋技科大・第 2 工学)

(2) 型継承の表示的意味論 立木秀樹 (京大・数理解析研)

(3) 属性文法による構造化分析法の形式的記述

馮 安, 井上克郎, 菊野 亨, 鳥居宏次 (阪大・基礎工)

大野浩史 (日本ユニシス)

13 : 15～17 : 00 (7 件)

(4) 無限プロセスを含む並列論理型プログラムの宣言的意味論

村上昌己 (ICOT)

(5) 変数管理をする GHC の自己記述

田中二郎, 的野文夫 (富士通)

- (6) 連続動作代数と項書換え系の意味論への応用
直井 徹, 稲垣康善 (名大・工)
- (7) 代数的手法を用いた順序回路の記述とその詳細化について
杉山裕二, 北道淳司, 谷口健一 (阪大・基礎工)
- (8) ω 正則集合と等価な表現能力をもつ時相論理
濱口清治, 平石裕実, 矢島脩三 (京大・情報工学)
- (9) 通信の動的な名前づけによる CCS の拡張
結縁祥治, 坂部俊樹, 稲垣康善 (名大・工)
- (10) OSI セッション層の代数的記述とその検証について
栗屋英司, 逮 一光, 関 浩之, 藤井 護, 嵩 忠雄 (阪大・基礎工)

5月27日(金) 9:30~12:00 (5件)

- (11) (n, k) -多重サイクルに対する $(3, k-1)$ -耐性かつ両方向性の最短路線割当
羅 予 頻, 川口喜三男, 和田幸一 (名工大・電気情報工学)
 - (12) 一方向分散型計算システムに対する停止判定アルゴリズム
溝口一郎, 今井正治 (豊橋技科大・情報工学)
 - (13) ループプログラムに関するシストリックアレー実現可能条件
阿曾弘具 (東北大・情報工学)
 - (14) 高速 LAN のモデルとその上での更新アルゴリズム
齊藤明紀, 辻野嘉宏, 都志武史 (久保田鉄工),
都倉信樹 (阪大・基礎工)
 - (15) 点集合の正方格子度を求めるアルゴリズム
炭野重雄, 今井 浩 (九大・工), 内藤史門 (富士電機)
- * 今回の研究会は電子情報通信学会 (ソフトウェアサイエンス・コンピューテーション研究会) との共催で開催されます。
- * 5月26日(木) 夕方より懇親会を行います。

◆ 第39回 オペレーティング・システム研究会 (発表件数: 5件)

(主査: 亀田壽夫, 幹事: 川島幸之助, 黒沢 隆, 村松 洋)

日時 昭和63年6月17日(金) 午前9時50分~午後4時40分
会場 機械振興会館 6階 67号室
〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, JR: 浜松町下車, バス: 渋谷-東京タワー線東京タワー, 渋谷-東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車. Tel. 03 (434) 8211〕

議題 9:50~11:30 (2件)

- (1) 流通ソフトウェアを考慮したマルチ OS 八木橋信一, 真鍋和久 (日電)
〔概要〕 UNIX 上で MS-DOS および市販流通ソフトウェアを稼働させるマルチ OS 方式を説明し, 実現システムについて述べる。
- (2) 仮想計算機システムの運転方式について
加藤保夫, 川崎隆二 (NTT 通研)
〔概要〕 仮想計算機システムの運転性向上のための限定優先方式について, 方式案およびその評価結果について示す。

12:30~14:10 (2件)

- (3) LISP 処理専用パーソナルメディア SLIM のオペレーティングシステムについて
谷口健一, 白川洋充 (立命館大・理工)

〔概要〕 パーソナルメディア SLIM のオペレーティングシステムの構成について述べる。

- (4) 多重 OS「江戸」とそのウィンドウ・システムの開発

岡野裕之, 堀 素史, 中川正樹, 高橋延匡 (農工大・工)

〔概要〕 OS/o や, 他の OS を同時に動作させることを可能にした多重 OS とそのウィンドウ・システムについて述べる。

14:10~14:30

多重 OS「江戸」のデモンストレーション

14:40~16:40

- (5) 研究プロジェクト総説: OS/omicron の開発 高橋延匡 (農工大・工)

〔概要〕 公開を前提とした, 応用指向の日本語 OS を開発した. その生い立ち, 開発経過および主要成果と, 今後の課題について述べる。

◆ 第 60 回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 花田収悦, 幹事: 落水浩一郎, 紫合 治, 春原 猛)

日 時 昭和 63 年 6 月 22 日 (水) 午後 1 時半~5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 2 号室 (所在地は前記参照)

議 題 (1) 複雑なデータの表現に向く構文データ型とこれを導入した言語 fix

大竹和雄 (日電)

〔概要〕 プログラム言語のデータタイプとして構文型を導入することの利点と, 開発した言語および処理系について述べる。

- (2) Cosmos のプログラミング環境について

猪股俊光, 片野田守人, 西村義行 (豊橋技科大・第 2 工学)

〔概要〕 並行処理システムモデリング・シミュレーション支援システム Cosmos のプログラミング環境について報告する。

- (3) 電子レンジ制御プログラム開発支援システムの開発

奥都茂夫, 平石輝彦, 堀井誠司, 村瀬 薫 (松下電器)

〔概要〕 既存のソフトウェア部品合成により, 1 チップ上で動作する制御プログラムを自動生成するシステムについて述べる。

- (4) 設計標準化に基づく部品合成システムの考察

加地浩一, 松村一夫 (東芝)

〔概要〕 部品化の試行により開発した現場のプログラムを分析し, 状態遷移による部品合成システムの可能性を考察した。

◆ 第 9 回 情報学基礎研究会

(発表件数: 3 件)

(主査: 藤原 譲, 幹事: 有川節夫, 岩野和生, 吉田郁三)

日 時 昭和 63 年 6 月 27 日 (月) 午後 1 時半~5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 2 号室 (所在地は前記参照)

議 題 (1) 分子設計支援システムにおけるエディタと属性検索

高橋一重, 酒井真理子, 可児利佳子, 恒川 尚 (東芝総研)

〔概要〕 対話的グラフィックエディタと、構造解析による部分構造の認識および認識結果による属性判定の試みについて報告する。

(2) 知識工学の応用によるフェライト材料設計システム

陸川 弘 (富士電気化学)

〔概要〕 分散協調型の問題解決機構を持つ知識表現言語を開発し、実用的なフェライト材料設計システムを構築した。

(3) 高分子材料設計のための知識

藤重昇永 (繊維高分子研)

〔概要〕 高分子材料設計のための知識ベースを構築してきたので、これについて報告する。

◆ 第51回 マイクロコンピュータとワークステーション研究会 (発表件数: 5 件)

(主査: 若鳥陸夫, 幹事: 岡田義邦, 森本陽二郎, 山田 剛)

日 時 昭和 63 年 6 月 28 日 (火) 午後 1 時半～5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 9 号室 (所在地は前記参照)

議 題 (1) 日本語デスクトップパブリッシングの OS によるサポートに関する考察

中島 聡, 北野孝夫, Thomas Paule (マイクロソフト)

〔概要〕 マイクロソフトウインドウズをその例として、日本語 DTP の OS による支援のあり方、および問題点について考察する。

(2) ISDN におけるファクシミリ

尾川福重 (東芝)

〔概要〕 ファクシミリとイメージ処理機能付パソコンを組み合わせる高度な画像通信ができる ISDN 用端末を紹介する。

(3) カラーレーザーコピー 1 における画像編集技術

池田義則, 本間利夫, 鈴木康道 (キヤノン)

〔概要〕 カラーレーザーコピー 1 に搭載された、各種画像加工、編集の μ コンによる高速、リアルタイム制御について述べる。

(4) 紙芝居言語 CSL

浦野収司, 藤原敏樹 (ハイテックラボジャパン)

〔概要〕 大容量記録装置上の画像データ、文字データ、音データを再生する時に有用なコンピュータ言語の概要と特徴。

(5) 超小型グラフィック・システム用チップ・セット

桂 晃洋, 前島英雄, 児島伸一, 倉上典之, 吉田重秋 (日立)

〔概要〕 ナビゲータなどの超小型グラフィック・システムにおけるグラフィック処理方式、フレームメモリ制御方式を示した上で、これらを実現する LSI チップセットを紹介する。

◆ 記号処理研究会

第 48 回 研究会を 下記のとおりに開催いたします。なお詳細は次号 (6 月号) に掲載いたします。

日 時 昭和 63 年 7 月 1 日 (金) 午後 1 時～5 時

会 場 名古屋大学 工学部 情報工学科 講義室 (工学部 8 号館 南館 2 階)

議 題 (1) 連立代数方程式のモジュラ・グレブナー基底解法

佐々木建昭 (理研), 竹島 卓 (富士通)

(2) Interlisp-D による地図情報データベースの実現

丹羽寿男, 吉田雄二 (名大・工), 福村晃夫 (中京大・社会)

- (3) Lisp 並列処理マシンのための共有メモリ構成とその EVLIS マシンの実現
坂口寿和, 廣西伸幸, 斎藤年史, 安井 裕 (阪大・工)
- (4) 高速 Prolog インタプリタの構築法とその評価について 小長谷明彦 (日電)

◆ 計算機アーキテクチャ研究会

昭和 63 年度最初の研究会を下記のとおり開催いたします。なお詳細は次号 (6 月号) に掲載されます。

日 時 昭和 63 年 7 月 7 日 (木)～8 日 (金)
会 場 日本勤労福祉センター 岩手レクリエーションセンター 八幡平ハイツ
主 題 今回は特にニューロコンピュータに関する特集を設けますが同時に多数の一般講演も歓迎します。

* なお、研究会参加のための宿泊に関するお問合せは下記までお願いします。

(6 月 20 日(月)必着)

連絡先 〒213 神奈川県川崎市宮前区宮崎 4-1-1

日本電気(株) C&C システム研究所 コンピュータシステム研究所 横田 実

Tel. 直 044 (856) 2126 FAX 044 (856) 2231

* 締切日を過ぎた場合、宿泊は個人予約となります。

* IEEE Computer Society Tokyo Chapter 協賛

* 電子情報通信学会 (コンピュータシステム研究会) と共催で開催されます。

* 7 月 7 日 (木) 懇親会を予定しています。

◆ 知識工学と人工知能研究会

第 59 回 研究会を下記のとおり開催いたします。なお、詳細は次号 (6 月号) に掲載されます。

日 時 昭和 63 年 7 月 7 日 (木)～8 日 (金)
会 場 琉球大学 工学部 会議室
議 題 知識工学と AI に関する 17 件の一般発表を行います。

◆ 数値解析研究会

第 25 回 研究会を下記のとおり開催いたします。なお、詳細は次号 (6 月号) に掲載されます。

日 時 7 月 8 日 (金) 午前 10 時～午後 5 時
会 場 機械振興会館 地下 3 階 2 号室
議 題 特集: Bifurcation について
発 表 者 (1)藤井 宏 (京産大) チュートリアル, (2)池田清宏 (長岡技科大), (3)余田成男 (京大), (4)今井 仁司 (筑波大), (5)杉内 陽 (日本 IBM)

◆ オペレーティング・システム研究会

研究プロジェクト総説について

多年にわたるひとまとまりの研究プロジェクトの生いたち、経過、主な成果、などを 1 件 2 時間程度かけて、非専門家にもわかりやすく解説していただくものです。当面、通常の研究会 1 回に 1 件程度とし以下の予定です。

第 39 回 研究会 6 月 17 日 (金) 機械振興会館 6 階 67 号室

「OS/omicron の開発」

高橋延匡 (農工大)

第 40 回 研究会 9 月 9 日 (金) 機械振興会館 6 階 65 号室

未 定

第 41 回 研究会 11 月 11 日 (金), 12 日 (土) 京都大学

「QA-1, QA-2 のシステム開発」

柴山 潔 (京大), 富田眞治 (九大), 萩原 宏 (京大)

第 35 回 全国大会学術奨励賞の表彰

第 35 回全国大会学術奨励賞は、去る 3 月 16 日～18 日に慶應大学日吉校舎で開催された第 36 回全国大会の席上、会長から下記 10 君に授与されました。

本賞は昨年 9 月開催の第 35 回全国大会（於北海道大学工学部・教養部）の発表論文を対象に、学術奨励賞委員会（委員長 石井副会長）において表彰規程にもとづき、総発表件数 1,366 件中推薦のあった 64 名の候補者の中から 30 名を選び、さらに慎重審議の結果、10 名が受賞候補者として推薦され、第 318 回理事会（昭和 63 年 2 月）の承認をえて決定されたものです。

複数パターンに対する高速ストリング・サーチ・アルゴリズムの提案（4B-2）

大曾根 匡君（正会員）

昭和 31 年生。昭和 59 年東京工業大学大学院総合理工学研究科博士課程修了。理学博士。同年(株)日立製作所入社。現在、同社システム開発研究所研究員。待ち行列理論、データベースシステム、情報検索方式に関する研究に従事。日本オペレーションズ・リサーチ学会会員。

超立方体形ネットワークに於ける全点对全点通信の最適ルーティング法（4C-3）

武 理一郎君（正会員）

昭和 34 年生。昭和 57 年東京大学工学部計数工学科卒業。同年富士通(株)入社。同社川崎研究所ソフトウェア研究部に所属。データベースマシンに関する研究に従事。

電子化図書構想とデータモデリング（6Bb-5）

田淵 仁浩君（学生会員）

昭和 40 年生。昭和 62 年早稲田大学理工学部電子通信学科卒業。現在、同学大学院理工学研究科修士課程電気工学専攻に在学中。村岡洋一教授の指導のもとでメディアとしてのコンピュータの開発に関する研究に従事。マンマシンインタフェース、マルチメディアデータベース、情報検索、ゲームなどのコンピュータの応用に興味を持つ。電子情報通信学会会員。

JUNET による広域分散環境の構築（3V-5）

村井 純君（正会員）

昭和 30 年生。昭和 54 年慶應義塾大学工学部数理工学科卒業、昭和 59 年慶應義塾大学工学部大学院博士課程修了、同年東京工業大学総合情報処理センター助手、昭和 62 年東京大学大型計算機センター助手。昭和 61 年第一回元岡賞（コンピュータネットワーク）受賞。オペレーティングシステム、分散処理、コンピュータコミュニケーション、コンピュータネットワークなどの分野での研究に従事。工学博士。

関数型シェルについて（5W-5）

鯨坂 恒夫君（正会員）

昭和 31 年生。昭和 55 年京都大学理学部物理学系卒業。昭和 57 年同大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了。昭和 60 年同博士課程研究指導認定退学。同年より京都大学工学部情報工学科助手。工学博士。ソフトウェア開発の自動化に関する研究に従事。日本ソフトウェア科学会会員。

経験空間中での日本語理解（5T-7）

藤田 悟君（正会員）

昭和 36 年生。昭和 59 年東京大学工学部電子工学科卒業。昭和 61 年同大学大学院工学系研究科電子工

学専門課程修士課程修了。現在、同大学院工学系研究科電気工学専攻博士課程に在学中。自然言語理解に関する研究に従事。電子情報通信学会，人工知能学会，AIUEO 各会員。

導出を用いた仮説探索 (1M-2)

井上 克巳君 (正会員)

昭和 34 年生。昭和 57 年京都大学工学部数理工学科卒業。昭和 59 年同学大学院工学研究科修士課程修了。同年松下電器産業(株)入社。同社東京研究所に所属。昭和 61 年 10 月より(財)新世代コンピュータ技術開発機構 (ICOT) へ出向。同研究所第 5 研究室に勤務。非単調推論，探索，設計システムの研究に従事。

シルエット画像群からの認識機構学習システム(2)—モデル獲得部— (4K-4)

松原 仁君 (正会員)

昭和 34 年生。昭和 56 年東京大学理学部情報科学科卒業。昭和 61 年同学大学院工学系研究科情報工学専門課程博士課程修了。工学博士。同年電子技術総合研究所入所。現在パターン情報部画像処理研究室に所属。画像認識を対象とした学習や知識表現に興味を持つ。AIUEO，日本認知科学会，人工知能学会，日本ロボット学会の会員。

会話型レイアウト構造記述の一手法 (3F-8)

石川 正樹君 (正会員)

昭和 33 年生。昭和 55 年早稲田大学理工学部電子通信学科卒業。昭和 57 年同学大学院修士課程修了。同年日本電気(株)入社。現在同社 C & C システム研究所に所属。VLSI レイアウト，シリコンコンパイラに関する研究に従事。電子情報通信学会会員。

ブラックホールのコンピュータグラフィックス (4Dd-6)

山下 義行君 (学生会員)

昭和 34 年生。昭和 57 年大阪大学理学部物理学科卒業。昭和 57 年～61 年日立マイクロコンピュータエンジニアリング(株)勤務。昭和 61 年筑波大学情報学類研究生。昭和 62 年より同学大学院博士課程工学研究科(電子情報工学専攻)に在学中。CCFG プログラミングとその周辺，一般相対論的コンピュータグラフィックスに関する研究に従事。日本ソフトウェア科学会会員。

昭和 63 年度第 29 回 通常総会の開催について

昭和 63 年度通常総会を下記によって開催いたします。ぜひご出席ください。

なお、総会の案内状は、正会員各位に 4 月下旬別途郵送いたしましたので、ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。

記

日 時	昭和 63 年 5 月 28 日 (土) 15 : 30 ~ 17 : 00
会 場	機械振興会館ホール (地下 2 階)
総会次第	1. 会長のあいさつ 2. 昭和 62 年度事業報告および決算報告 3. 昭和 63 年度事業計画および予算審議 4. 昭和 62 年度功績賞の発表と表彰 5. 昭和 62 年度論文賞の発表と表彰 6. 新役員の選定 7. その他

なお、総会終了後ささやかな懇親パーティ (無料) を行います (会場は 6 階食堂パークヒル)。会員が一堂に会し、直接にお話しできる得難い機会ですので、皆さまのご出席をお待ちしております。

第 37 回 全国大会の原稿締切りと宿泊について

第 37 回全国大会の原稿締切りは 6 月 15 日 (水) です。プログラム編成をすぐに行いますので、遅れないようにご準備ください。

また、大会時期は修学旅行、行楽シーズンのため、ホテルが不足するおそれがあります。ご希望の方は早目に下記の業者宛に申込みください (学会事務局では直接取り扱いいたしません)。

(株)日本交通公社 国内・海外団体旅行新宿支店 営業第 3 課 担当: 石川・寺田

〒160 新宿区西新宿 1-18-8 (新宿スカイビル 4 F)

Tel. 03 (346) 0161

(株)日本旅行 新橋支店情報処理学会係 担当: 丸谷・大坂・田口

〒105 港区新橋 2-5-4 第一兼坂ビル

Tel. 03 (503) 2657 (代) FAX 03 (503) 8752

第 37 回 全国大会併設「ラップトップ・コンピュータ展示会」

ご出展のお願いについて

第 37 回全国大会が 9 月 12 日(月)～14 日(水)の 3 日間、京都の立命館大学で開催されます。この大会に併設して、各社の最近のラップトップ・コンピュータを一堂に集めた展示会を行います。

つきましては、この機会に各社よりぜひとも最新のハード・ソフトをご出展賜われますようお願い申し上げます。

なお、出展の詳細については関西支部(担当 柱本 Tel. 06(346)2541)まで、ご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。

「利用者指向の情報システム～情報システムの設計と構築～」

シンポジウム開催について

日 時	昭和 63 年 6 月 24 日(金) 9:30～17:30 25 日(土) 9:30～13:00
場 所	機械振興会館 研修 1 号室
参 加 費	正会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生会員 1,500 円 (論文集のみ 3,500 円, 送料 400 円)
懇 親 会	昭和 63 年 6 月 24 日(金) のシンポジウム終了後、約 1 時間の極く軽い懇親会開催を予定しています。ご参加ください。(懇親会費 1,000 円)
申込締切	昭和 63 年 6 月 6 日(月) (プログラムおよび申込書は前号にあります。)

プログラミング・シンポジウムについて

第 30 回 プログラミング・シンポジウム開催（予告）

- 日 時** 昭和 64 年 1 月 10 日(火) 午後 1 時から 12 日(木) 正午まで
場 所 箱根ホテル小涌園
問合せ先 情報処理学会 シンポジウム係 Tel. 03 (505) 0505
発表申込 9 月 3 日 (土) までに、氏名、所属、連絡先、発表の題と要旨を A 4 判用紙 1 ～ 2 枚に書いて事務局宛にお送りください。その採否は 9 月末までにお知らせいたします。
参加申込 10 月号に参加申込書を、また 11 月号にプログラムを掲載する予定です。
注意 (1) 学術論文発表の場というより、多方面の人々の共通の討論の場であり、意見の交換の場であると考えています。
(2) 情報処理の健全な発展のために、多数の方々に参加され、とくに利用者の立場から活発に発言されることを期待します。
(3) 未完成であっても将来に影響を与えるような話題を歓迎します。
(4) ポスタセッションおよびマイコンデモなどの場所を用意する予定です。

夏のシンポジウム「卓上出版」開催

- 日 時** 昭和 63 年 7 月 21 日(木) 午後 1 時から 23 日(土) 午後 1 時まで
場 所 文部省共済組合箱根宿泊所 (静雲荘)
箱根町強羅 1320 (強羅駅より徒歩 5 分)
参 加 費 20,000 円 (予定)
定 員 50 名 (発表は約 20 件の予定)
申込先(幹事) 〒113 文京区弥生 2-11-16 東京大学大型計算機センター
石田晴久 Tel. 03 (812) 2111 (内) 2731
(詳細は 4 月号本欄参照)

第 21 回 情報科学若手の会シンポジウム開催（予告）

- 日 時** 1988 年 7 月 24 日(日)～26 日(火)
場 所 タイセイクリエイト 湯河原研修クラブ (静岡県熱海市泉 187)
定 員 45 名 (先着順、但し同一の組織から多数申し込みの場合調整していただくことがあります)
参加資格 情報科学及びその関連分野で、研究・実務に携わっている若手研究者・技術者
参 加 費 ¥ 14,000 (食費こみ、遠方からの参加者には交通費一部補助)
参加申込 A 4 判の用紙に氏名、所属、学年、連絡先、電話番号、(JUNET メールアドレス)、発表題目、発表内容の要旨を記入して送付のこと、JUNET の E-mail でも受け付けます。
申込締切 1988 年 7 月 10 日
申込問合せ先 〒160 新宿区大久保 3-4-1 早稲田大学理工学部電子通信学科 61 号館 505

教室 小原研究室内 若手の会事務局（幹事代表 朝長宜央）

Tel. 03 (232) 0551 (直通)

JUNET: wakate@wsdohr. waseda. junet

参加を内諾された先生方

小原啓義, 寛 捷彦, 廣瀬 健（五十音順, 敬称略）

※ JUNET の NEWS にも案内がでておりますのでご参照ください.

シンポジウムの論文募集について

下記シンポジウムが論文を募集中です. 奮ってご応募ください. なお, 詳細については前号本欄をご参照ください.

「グラフィクスと CAD」シンポジウム

日 時 昭和 63 年 10 月 25 日(火)~26 日(水) 9:00~18:00

場 所 機械振興会館大ホール (地下 2 階)

論文概要締切 昭和 63 年 6 月 30 日(木)

学会誌送本先の住所等の変更届について (お願い)

年度の終りから始めにかけては異動期で, 会員の住所や所属の変更が殺到いたします. 事務処理の誤りを防ぎ能率化するため, 勤務先, 自宅住所に異動のある方は, 必ず所定の「変更連絡届」用紙 (前号末尾に添付) にて氏名, 会員番号を付し, 早速にご連絡ください. なお, 異動の受付は毎月 20 日に締切り, 翌月号から変更いたします. 21 日以降受付分の変更は翌々月号からとなります.

「アドバンスデータベースシステム」

シンポジウム論文募集

データベースシステムは、科学・工学のあらゆる分野において、エンジニアリング・研究開発あるいは意志決定の主要なツールとして、高度な利用が志向されてきている。

本シンポジウムでは、データベースに関連する基礎的な問題から応用事例に至るまでの先鋭的論文を募集し、今後の発展の方向と共通する問題点を討議する場としたい。本年度は、特に「データベースシステムの新たな展開—新しいモデルと高速化—」として、モデル論・高速化技法・マシン・応用技術などの関連について議論を深めることとしたい。

日 時 昭和 63 年 12 月 8 日(木)～9 日(金)

場 所 機械振興会館大ホール (地下 2 階)

トピックス データベース工学の理論・技術・高度応用などの分野における研究・開発に関するもの

- 理論技法：データモデル，知識ベース，分散データベース，マルチメディアデータベース，データベースマシン，並列処理，マイコンデータベース，エンドユーザインタフェース，データベース設計，データディクショナリ，情報資源管理など
- 高度応用：OA, CAD, DSS, 統計，診断など

実施方法

- (1) 発表論文については、審査制とする。
- (2) 応募論文は、アブストラクトを含めるものとし、邦文 (9,000 文字まで) または、英文 (5,000 文字まで) とする。ただし、英文論文には、邦文アブストラクトを付け、これは語数に含めないものとする。
- (3) スケジュールは次のとおりとする。
 - 論文締切 8 月 19 日(金)
 - 採用決定 9 月末
 - 最終論文 11 月 4 日(金)

応募される方は、コピーを 3 部を下記へご送付ください。

申 込 先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル

(社)情報処理学会 データベースシンポジウム係 Tel. 03 (505) 0505

愛媛大学「ソフトウェア工学の現状と動向」

講習会開催について

ソフトウェア生産に関する諸技術は漸次改善されつつはありますが、今後一層の研究・技術開発を促進すべき問題も多く残されており、生産・研究に携わる若手の一層の奮起が期待されます。このような状況を考慮し、現在、生産と研究の第一線で活躍中の専門家諸氏をおむかえして、ソフトウェアの生産技術を中心課題とする講習会を開催いたします。

日 時 昭和 63 年 6 月 17 日(金) 9:00~17:40

場 所 愛媛大学・工学部

参 加 費 資料代として約 1,000 円程度を当日受付にて徴収します。

申込方法 電話・FAX または官製ハガキで、氏名・電話番号を事務局まで連絡してください。

申込期限 6 月 10 日まで。ただし、定員(約 50 名)になり次第締め切ります。

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

9:00~ 9:10	愛媛大・相原愛媛大学教授ご挨拶	司会 春原 猛(三菱)
9:10~10:20	ソフトウェア工学の背景と展望 大野 豊(ASTEM RI/KYOTO 研究所)	
10:20~10:30	休憩	
10:30~11:30	要求定義・プロトタイピング	司会 紫合 治(日電) 大筆 豊(東芝)
11:30~12:30	設計・自動化技術	松本 正雄(日電)
12:30~13:30	昼食	
13:30~14:30	テスト・品質保証技術	司会 落水浩一郎(静岡大) 保田 勝通(日立)
14:30~15:30	開発管理技術	花田 收悦(NTT)
15:30~15:40	休憩	
15:40~16:40	自然言語処理の応用	司会 花田 收悦(NTT) 辻井 潤一(京大)
16:40~17:40	新形態プログラミング	二木 厚吉(電総研)

事務局 〒790 松山市文京町 3 愛媛大学工学部電子工学科 村上 研二

Tel. 0899 (24) 7111 (3746) FAX 0899 (23) 0672

〒108 東京都港区港南 1-9-1 NTT 品川 TWINS

NTT ソフトウェア研究所 花田 收悦

Tel. 03 (740) 5500 FAX 03 (740) 5677

支 部 だ よ り

昭和 63 年度 支部総会について

各支部の通常総会が下記のとおり開催されますので、ぜひご出席ください。なお、各支部総会の案内状は、支部内の正会員各位に別途郵送されますが、欠席の場合には必ず委任状をご返送ください。

支 部	日 時	会 場	講 演 会
関 西	5 月 27 日 (金) 13 : 30 ~	大阪ガーデンパレス (大阪市淀川区西宮原 1-3-35)	14 : 00 ~ 15 : 30 生産工学における最近のコンピュータ利用 岩田一明 (神戸大)
東 北	5 月 12 日 (木) 15 : 00 ~	東北大学電気通信研究所 大会議室	16 : 00 ~ 17 : 30 今後のコンピュータアーキテクチャの動向—RISC と VLIW— 穂積元一 (日本 IBM)
九 州	5 月 13 日 (金) 13 : 30 ~	九州大学大型計算機センター多目的講習室 (3 階)	14 : 30 ~ 16 : 30 コンピュータチェスの発展史 松山公一 (九州東海大)
中 部	5 月 19 日 (木) 14 : 00 ~	王山会館 (名古屋市千種区覚王山通 8-18)	14 : 40 ~ 16 : 30 信号処理・画像処理の 2, 3 の話題 鈴木宣夫 (名工大) 情報とともに 40 年 福村晃夫 (中京大)
北 海 道	4 月 26 日 (火) 14 : 00 ~	北海道大学工学部 情報工学科会議室	15 : 00 ~ 17 : 00 文章理解のモデルについて 桃内佳雄 (北海学園大)
中国四国	5 月 13 日 (金) 14 : 30 ~	NTT 袋町ビル (広島市中区袋町 6-11)	15 : 00 ~ 16 : 30 知識処理技術の動向 村上國男 (NTT)

情報処理学会東北支部大会講演募集

——昭和 63 年度電気関係学会東北支部連合大会——

期 日 昭和 63 年 8 月 25 日 (木), 26 (金)
 25 日 (木) 午前・一般講演 午後・一般講演, 特別講演 夜・懇親会
 26 日 (金) 一般講演
 25, 26 の両日 展示会 (計測器, 電子通信機器, 電力機器, 最近のニューメディアほか)
会 場 東北大学工学部電気系 (仙台市荒巻字青葉)

- 講演内容** 一般講演 各専門分野で最近行った研究の発表。講演者は、主催学会会員に限る。連名は会員以外を含むことも差し支えない。講演時間は、1件15分以内（討論時間を含む）とする。
- 申込方法**
- (1) 「講演申込書」は申出により「原稿用紙1,600字」「原稿の書き方」と共にわたす。郵送希望の場合は1部170円（2部以上の場合は1部増すごとに70円増）の郵送料を添えること。
 - (2) 一般講演の予稿集はオフセット印刷とするので、必ず所定の原稿用紙を使用すること。
 - (3) 一般講演は、1名2件までとする。ただし、連名は差し支えない。内容が著しく不適當と思われる場合、講演を制限することがある。
 - (4) 発表者は講演申込と同時に、必ず講演申込金として1件につき3,000円を添えて申込むこと。（論文集代、別刷50部代を含む）
 - (5) OHPを講演各室に準備する。（希望によりスライドも可）
- 申込・原稿締切日** 7月4日（月）必着厳守（申込書と同時締切とする）
- 論文集** 発表者には、大会当日受付にて配付する。購入希望者は、所要部数を早めに申込むこと。（1部2,500円、郵送料1部500円）
- 申込・問合せ先** 〒980 仙台市荒巻青葉 東北大学工学部電気情報系学科内
電気関係学会東北支部連合事務局
Tel. 022 (222) 1800（内 4312）
- 懇親会** 8月25日（木）18:00～ 場所 仙台市内 会費3,000円
申込は当日大会会場で受付ける。

本 会 協 賛 等 の 行 事 案 内*

第9回 ディスプレイ研究国際会議

昭和64年10月15日(日)～18日(水)

京都パークホテル

人工知能の産業応用国際ワークショップ

昭和63年5月25日(水)～27日(金)

茨城・日立製作所

セミナー「ファジィ理論による最先端制御とその応用」

昭和63年6月10日(金)

東京・東京工業大学

システムと制御チュートリアル講座イーブニングスクール「フィードバック制御の基礎」

昭和63年6月10日(金)～24日(金)

大阪府立労働センター

第14回「システム・シンポジウム」

昭和63年8月18日(木)～20日(土)

東京・東京工業大学

ロボテックス・自動化システム・シンポジウム

昭和63年9月30日(金)～10月1日(土)

東京・国立教育会館

電子化辞書国際シンポジウム

昭和63年11月24日(木)～25日(金)

新高輪プリンスホテル

NICOGRAPH '88

昭和63年11月7日(月)～11日(金)

池袋サンシャインシティ

第3回「生体・生理工学シンポジウム」

昭和63年11月24日(木)～25日(金)

大阪・なにわ会館

Computer Graphics Tokyo '88

昭和63年6月21日(火)～24日(金)

東京・芝パークホテル

セミナー「コンピュータ近未来」

昭和63年7月5日(火)～6日(水)

大阪・なにわ会館

7月14日(木)～15日(金)

東京・ダイヤモンド社ホール

知識獲得と学習に関する講習会

昭和63年10月20日(木)～21日(金)

大阪・中央電気クラブ

第11回 工業教育に関する講演会

昭和63年11月19日(土)

東京・上智大学

*詳細は本号会議案内欄参照

第19回画像工学コンファレンス論文募集

画像工学コンファレンスは1970年の発足以来、関連学会・研究会の共通の研究発表、討論の場として、日本の画像関係の研究開発の発展に大いに寄与して参りました。本年も新たな発展を期し、第19回画像工学コンファレンスを開催することに致しました。また、'88国際画像機器展（日時：12月7日～9日、場所：都立産業貿易会館）を併催致します。奮ってご応募下さい。

日時 昭和63年12月7日(木)～9日(金)

場所 日経ホール(東京・大手町)

趣 旨 画像工学は光学、エレクトロニクス、写真・印刷などの広い分野の技術に支えられ、学術・産業・医療・民生にわたる分野の発展に貢献しております。本コンファレンスは日頃活動分野を異にする方々が一堂に会して交流を図ることにより、画像工学分野の研究開発およびその応用をさらに活発化することを目的としています。

構 成 招待講演と、応募による一般講演およびポスタ講演により行います。一般講演は、本会場にて研究発表を行います。ポスタ講演は、ポスタ会場の決められた場所で図表、写真、実物等を示し、興味をもつ聴衆と自由に質疑、討論を交わしながら研究発表を行うものです。
招待および一般講演につきましては「募集論文の内容」欄の項目に沿い約10セッションにまとめる予定です。また今回は特別セッションとしてパネルディスカッション「ニューロコンピュータと画像」(仮題)を予定しています。一般およびポスタ講演ともオーディオビジュアル機器などを用いたデモンストレーションができます。なお、ポスタ講演のなかで優秀な発表に対して賞を贈ります。

募集論文の性格 論文として未発表のものに限ります。ただし口頭発表や研究速報などは差支えありません。

募集論文の内容 画像の知覚・入力・記録・蓄積・伝送・表示・計測・処理・理解などの基礎・材料・デバイス・システム・方式・応用・評価に関連する内容を募集対象とします。

応募資格 特に資格を問いません。

応募論文の審査 応募論文はプログラム委員会において、申込時提出の内容概要で審査いたします。また、プログラム編成上、一般講演とポスタ講演との変更をお願いすることがあります。

講演形式・時間 一般講演：質疑応答を含め20分(予定) ポスタ講演：ポスタ会場での発表討論90分

講演申込方法 A 4横書・図表などを含め2枚以内(800字程度)の内容概要と、必要事項を記入した講演申込書(コピーでも可)を下記の送付先にお送り下さい。(FAXでも結構です)

申込締切 昭和63年7月5日(火)必着

論文集原稿 採択論文については一般、ポスタとも、図・写真・表を含め7000字以内のカメラレディ原稿(タイプ又はワープロ)を提出していただきます。また、希望によりカラー印刷のページを設けます(ただし実費自己負担)。

原稿やスライドの作成方法などの詳細は8月上旬、論文採否通知とともに連絡します。

論文集原稿締切 昭和63年10月25日(火)必着

主 催 第19回画像工学コンファレンス実行委員会

(担当 電子情報通信学会・画像工学研究専門委員会・パターン認識理解研究専門委員会)

加盟学会・委員会 応用物理学会・光学懇話会、テレビジョン学会・画像表示研究委員会・視覚情報研究委員会・画像通信システム研究委員会・画像処理画像応用研究委員会、電気学会・電子デバイス技術委員会・光子デバイス技術委員会、電子情報通信学会・画像工学研究専門委員会・パターン認識理解研究専門委員会、日本ME学会、画像電子学会、日本写真学会、電子写真学会、日本写真測量学会、情報処理学会・コンピュータビジョン研究会・グラフィックスとCAD研究会、日本印刷学会、レーザー学会、日本医療情報学会、医用画像情報学会、計測自動制御学会・パターン計測部会、日本非破壊検査協会。

送付先・問合せ先 〒105 東京都港区浜松町2-12-14 第2日化ビル3階

「第19回画像工学コンファレンス事務局」 ☎03(433)2544

第19回画像工学コンファレンス講演申込書

題 目		講演形式 の 希 望	デモンストレーション 機 器
氏 名			
連絡先 (住所 所属 電話)	〒 ☎ FAX		
		☐ ポスタ 講 演	☐ V T R
		☐ 講 演	☐ マイコン・パソコン
		☐ どちら でも可	その他() ☐ 使用しない
			持込み・借用